

傷病手当金・傷病手当金付加金支給申請書 (第 1 回目)

※申請書はA3サイズで印刷してご使用ください

保険証の 記号・番号	999 - 9999	事業所名	〇〇〇〇(株)	赤・・・本人記入 青・・・事業所記入 緑・・・医師記入
職場で行っている業務の内容 ※離職者は在職時の業務内容	経理担当事務			
発病または 負傷の原因	発症日 負傷日	令和 4 年 2 月 1 日		
	どこで	会社で		
※不明な場合は おおよそで 構いません ※空欄、不明だ と受理不可	何をしています	業務中に嘔吐と下血があったため		
	確認事項 該当に <input checked="" type="checkbox"/>	業務中や通勤中によるものですか? はい <input type="checkbox"/> いいえ <input checked="" type="checkbox"/>	第三者の行為によるものですか? はい <input type="checkbox"/> いいえ <input checked="" type="checkbox"/>	
申請期間 (休んだ期間)	令和 4 年 2 月 1 日 ~ 令和 4 年 2 月 28 日 (28日間)			
療養状況 確認後 <input checked="" type="checkbox"/>	私は医師の指示通りに療養に専念しています。(通院、入院、服薬、日常生活など) ※適切な療養(通院や服薬等)を行っていない場合は支給対象とはなりません。(健康保険法 第99条)			
年金等を受給 している場合 該当に <input checked="" type="checkbox"/>	種別	対象傷病名 ()		
		※年金等の受給者は年金改定通知書または年金裁定通知書の写しを添付		
	受給開始月	□平成 □令和	年 月	年金額 (年額) 円
給付金の受取 方法について 選択に <input checked="" type="checkbox"/>	□ 事業所払いを希望する (事業所経由で給与と併せて支給/支給日:事業所の給与支給日)			
	■ 本人払いを希望する (本人口座に直接支給/支給日:毎月2日、土日祝の場合はその翌日)			
	〇〇〇〇	銀行	信用金庫	本店・支店
	普通	口座番号	0 1 2 3 4 5 6	口座名義 ケンポ ヒロシ
トッパングループ健康保険組合理事長 殿 上記のとおり請求します。 支給決定の際に必要なに応じて医療機関、事業所、保険者、官公庁等に照会を求めることに同意します。 また、給付金の事業所払い(受取代理)を選択した場合は事業主に給付金の受領に関する権限を委任します。 令和 4 年 3 月 15 日 ※請求期間最終日以降の請求であること 請求者の住所 〒 222-2222 ※退職後の請求は別紙「療養・日常生活状況報告書」の添付が必要 埼玉県〇〇市〇〇2-2-202 氏名 健保 弘志 TEL 222-222-2222 ※遺族による申請の場合は続柄が確認できる書類と健康保険給付金遺族支給申請書を添付ください				

療養のため 休んだ期間	令和 4 年 2 月 1 日 ~ 令和 4 年 2 月 28 日 (28日間)		
事業主 証明 欄	上記期間に 対しての報酬に ついて	①本俸支給はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	→支給額 円
		②手当支給はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	→支給額 円
		③交通費支給はありますか? <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり	→支給額 10,000 円
		④その他支給はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	→支給額 円
	※初回の待期 3日を除く	※翌月の給与にて支給分が控除されるなど後日調整される場合は「支給なし」となります ※初回および出勤や報酬等がある場合は出勤が確認できる書類の写しと給与明細等の写しを添付	
	上記のとおり相違ないことを証明します。 ※上記の支給額等について事業所作成の資料添付でも構いません。 令和 4 年 3 月 20 日 ※請求期間最終日以降の証明であること 事業所の所在地 東京都〇〇区〇〇3-3-3 名称 〇〇株式会社 事業主 〇〇三郎 TEL 333-333-3333		

【注意】ご記入いただいた内容は支給決定の重要な判断材料となりますので楷書で丁寧にご記入ください。 場合により社会保険審査会、裁判等での証拠書類となる場合もありますので正確にご記入ください。			
傷病名 ※レセ記載病名	十二指腸潰瘍	初診日	□平成 <input checked="" type="checkbox"/> 令和 4 年 2 月 1 日
発病・負傷の 年月日	□平成 <input checked="" type="checkbox"/> 令和 4 年 2 月 1 日	発病・負傷の 原因	不詳
労務不能と 認められた期間	令和 4 年 2 月 1 日 ~ 令和 4 年 2 月 28 日 (28日間)		
療養 担当 者の 意見 記 入 欄	診療日	2 月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	
	入院期間を含む 該当日に○	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	
	上記の期間中における「主たる症状および経過」「治療内容、検査結果、療養指導」等 嘔吐、下血を訴え来院し、内視鏡等にて検査を行い十二指腸潰瘍と診断した。 現在、投薬による治療を行っており症状の改善傾向がみられるが、まだ労務に服する事は困難と考えられる。 症状経過からみて従来の職種について労務不能を認められた医学的な所見 嘔吐、下血が続いており、自宅安静が必要と考える。 よって、まだ労務に服する事は困難であると認めた。		
その他 該当の場合のみ	人工透析の実施・人工臓器を装着した日 □平成 □令和 年 月 日	人工臓器等 の種類 該当に <input checked="" type="checkbox"/>	□人工肛門 □人工関節 □人工骨頭 □心臓ペースメーカー □人工透析 □その他 ()
	上記のとおり相違ありません。 令和 4 年 3 月 10 日 ※請求期間最終日以降の証明であること 医療機関の所在地 東京都〇〇区〇〇6-6-6 名称 〇〇内科医院 医師名 〇〇六郎 TEL 666-666-6666		

健保組合	
決裁	処理

健保受付

事業所	
責任者	担当者